

## 【法人の概要】

### 1 設立年月日

1992年3月24日 財団法人として発足  
2014年4月 1日 公益財団法人へ移行

### 2 定款に定める目的

この法人は、わが国におけるボールルームダンス及びボールルームダンス技術の発展と普及を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

### 3 定款に定める事業内容

(事業)

- (1) 普及、啓発及び指導
- (2) 競技会の実施、公認及び認定並びに競技規則の制定
- (3) 指導者の資格認定
- (4) 競技の審査員の資格認定
- (5) 研修会、講習会の開催
- (6) 国際組織への加盟並びに国際的競技会等への選手・役員等の派遣
- (7) 技術の研究、開発及び競技選手の育成、指導
- (8) 調査、資料収集
- (9) 教室の健全な育成、指導及び助言
- (10) 競技等に関する施設の設置及び運営
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、本邦及び海外にて行うものとする。

(その他の事業)

- (1) ボールルームダンス技術書、音楽著作物等の刊行
- (2) ボールルームダンス用品等の販売
- (3) その他、前2号に定める事業に関連する事業

### 4 所管官庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

### 5 会員の状況

正会員	1,406名	(プロ 1,388名、アマ 18名)
登録会員	5,139名	(プロ 3,408名、アマ 1,731名)
認定会員	318名	(プロ 318名、アマ 0名)
合計	6,863名	(プロ 5,114名、アマ 1,749名)

(2023年3月31日現在)

### 6 主たる事務所

東京都中央区日本橋浜町2丁目33番4号 日本ダンス会館

## 7 役員に関する事項

代表理事・会長	稲川 素子	非常勤	(株)稲川素子事務所 代表取締役社長
副会長	内田 芳昭	非常勤	国分寺ウチダダンススクール 代表取締役
専務理事	石原 久	非常勤	石原ヒサシダンススクール 経営
常務理事	秋田 祈雄	非常勤	アキタトシオダンススクール 経営
常務理事	伊藤 武彦	非常勤	ソーシャルダンスアカデミーダイナ 相談役
常務理事	大山 綱明	非常勤	(公財)日本関税協会 顧問
常務理事	奥村 三郎	非常勤	
常務理事	千田 耕平	非常勤	K&Sチダダンススクール 経営
常務理事	鳥居 洋子	非常勤	鳥居ダンススクール
常務理事	野村 泰雄	非常勤	野村ダンススクール 経営
常務理事	ニツ森 司	非常勤	(有)ニツ森企画 代表取締役
常務理事	松浦 孝行	非常勤	マツウラダンススクール 経営
理事	石川 晋	非常勤	(公財)日本健康スポーツ連盟 副理事長
理事	石崎 朔子	非常勤	学校法人二階堂学園 理事長
理事	大宅 尚武	非常勤	(株)メディカルヘルスケア 代表
理事	佐伯 聡夫	非常勤	
理事	渡邊 美樹	非常勤	ワタミ(株) 代表取締役会長兼社長
監事	板清 親雄	非常勤	
監事	坂本 忠	非常勤	(有)沢田企画 代表取締役
監事	松井 創	非常勤	野崎・松井法律事務所 弁護士

(2023年3月31日現在)

## 8 職員に関する事項

	職員数	男性	女性
事務局職員	8名	(4名)	(4名)

(2023年3月31日現在)

## 9 役員会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
理事会	2022年 6月13日	1. 2021年度事業報告及び収支決算(案)承認について 緊急議題. 基本財産の増額および定款変更について 2. 理事候補者および監事候補者の推薦について 3. 10ダンス業務委託並びに業務委託契約書締結について 4. J B D F 全日本プロフェッショナルダンス選手権大会 業務委託契約書締結について 5. 他団体移行者の1級承認について

理事会	2022年 6月28日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表理事等の選定について</li> <li>2. 評議員候補者の推薦について</li> <li>3. 名誉役員の推薦について</li> </ol>
	2022年10月 3日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種委員会委員の選任について</li> <li>2. 全国審査委員会の新設について</li> <li>3. 委員会規定の改定について</li> <li>4. 委員等謝金および役員等報酬支給基準の改定について</li> <li>5. 世界選手権招致に向けた検討委員会の設置について</li> <li>6. 名誉役員の再任について</li> </ol>
	2023年 1月23日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2023年度事業計画案および予算案について</li> <li>2. 2023スーパージャパンカップダンス業務委託契約書締結について</li> </ol>
	2023年 3月 6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員等謝金および役員等報酬支給基準の改定凍結について</li> <li>2. 2023年度事業計画案および予算案について</li> <li>3. 世界選手権大会開催について</li> </ol>

評議員会	2022年 6月28日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本財産増額および定款変更について</li> <li>2. 2021年度事業報告について</li> <li>3. 2021年度収支決算書（案）承認について</li> <li>4. 理事および監事選任について</li> </ol>
------	-------------	--

## 10 法人の課題

- (1) 高齢化等により会員の減少が続いている。会員の定着、拡大が喫緊の課題となっており、課題解決に向け具体的な取り組みを行う必要がある。
- (2) SNSをはじめとするソーシャルメディアを活用し、JBDFの活動内容やボールルームダンスの魅力を訴求する必要がある。

## 【公益目的事業】

### 第1. 普及・啓発に関する活動

#### 1 JBDF「はじめてのボールルームダンス」（社交ダンス）指導者養成講習会事業

##### (1) 目的

学校教育、社会教育の場、さらには学社連携による教育の場において、全国の多くの児童・生徒がボールルームダンスの特徴である音楽と運動の両面から「創造できる楽しさと踊りの深まり」や「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむとともに豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健やかな心身を育むことを目的に、学校・地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、全国に裾野を拡げていくボールルームダンスの指導者の養成を図る。

##### (2) 主催

公益財団法人日本ボールルームダンス連盟

##### (3) 助成

独立行政法人日本スポーツ振興センター「totoスポーツ振興くじ」助成

##### (4) 対象

教職員、ボールルームダンス指導員（プロ及びアマ）、ボールルームダンスに関心のある18歳以上の一般の方

##### (5) 募集方法

本法人ホームページ、機関誌

##### (6) 開催地区・開催地・講習の期間・開催会場・担当講師及び参加者数

開催地区	開催地	講習期間	会場	担当講師	参加人数			
					教員	一般	会員 (アマ)	合計
関東・甲信越地区	東京都	2022年8月9日(火) ・10日(水)	スタジオ iDC	講義 佐伯年詩雄 実技 村田 恭子 実技 大島 寿子	2	7	1	10
近畿・中国・四国地区	大阪府	2022年8月19日(金) ・20日(土)	ドイダンススクール	実技 堀口 宏 実技 島 輝子 実技 徳山 久仁	1	4	0	5
合 計					3	11	1	15

##### (7) 内容

ア 講義主題 「これからの学校学習とボールルームダンス」

イ 実技指導 「チャチャチャ、ジルバ、サンバ、ワルツ、リズムダンス（スロー、クイック）」のほか「模擬授業」及び「授業のまとめとしての発表会」

##### (8) 特記事項

独立行政法人日本スポーツ振興センター「totoスポーツ振興くじ」の助成を受けて実施した。

## 2 学校学習支援事業（キャラバン隊、行政・学校・団体等連携協力事業を含む）

### （1）目的

文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女ともに必修となり全面実施となりました。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究、開発を行いその積み重ねの成果を学校教諭、一般並びにボールルームダンス指導者に指導方法等を伝達し普及・啓発に努める。

### （2）対象

全国の小・中・高等学校の教員及び児童・生徒及び、学校教育に興味のある一般の方

### （3）内容

全国の小・中・高等学校の研究協力校のサポート並びにデモンストレーターや講師の派遣、模範演技、ダンス講習による体験学習の実施および広報

### （4）期間

通年

### （5）内容

#### ①キャラバン隊

令和4年度は1校で実施した。

・実施日 令和4年9月15日（木）

・場所 豊島区立駒込小学校 開校105周年記念

・参加者 3年生（97名）、校長及び3年生担任教員（3名）、参観父兄（約10名）

・デモンストレーター 市川 学・大島 寿子組

・種目 チャチャチャ、サンバ、ワルツ、タンゴ

#### ②全国の小・中・高校におけるボールルームダンスの授業化におけるサポート

令和4年11月17日（木）・11月30日（水）、小田原市立三の丸小学校において、3年生を対象に実施した「ボールルームダンス授業研究会」に参画した。

#### ③文部科学省が推進する「運動部活動の地域移行」への取り組み

スポーツ庁、川口市教育局および川口西中学校と連携について協議した。

## 3 サマーセミナー、定期研修会

### （3-1）サマーセミナー

#### （1）目的

指導者を育成するための講師・試験審査員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のないダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指す事を目的とする。

#### （2）対象

本法人の会員・不特定多数の一般の方

#### （3）募集方法

会報誌とホームページに公示し、参加者を募る。

#### （4）開催期日

2022年7月12日（火）・13日（水）

(5) 会 場

ティアラこうとう（江東公会堂）

(6) 内 容

全日本チャンピオンによる講習、新しいサマーセミナー・バリエーションの発表、今年度の定期研修会のテーマの講習、講師・試験審査員のための講習を行った。

(7) 期待される成果

年に1度、チャンピオンから最新の踊り方や、J B D F 講師陣による講習技術及び認定試験時における講習・採点判断の方法等の講習を受けることにより、ボールルームダンス技術の全国均一化を目指している。各都道府県連盟・協会にて年に1回開催される定期研修会は、その地域の指導者が講師を務めている。

(8) 特記事項

「toto スポーツ振興くじ」の助成を受け、コロナ禍で開催された第22回サマーセミナーには、2日間で440名の会員及び一般の方の参加があった。スタンダードはクイックステップ、ラテンアメリカンはチャチャチャを中心に講習をし、「みんな de ワルツⅡ」というタイトルでルーティンを作り、サークル等で活用していただくための講習を行った。

### (3-2) 定期研修会

(1) 目 的

アマチュアダンス指導員及びプロフェッショナルダンス教師の会員に、年に1回、最新のダンス技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指すことを目的とする。

(2) 対 象

本法人の会員・不特定多数の一般の方

(3) 募集方法

ホームページ、会員宛開催通知

(4) 開催期日

各都道府県連盟・協会にて年に1回開催

(5) 会 場

公共施設を使用する。

(6) 内 容

該当年度に行われたサマーセミナーの講習を基に行われる。

(7) 期待される成果

日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、全国的に技術力の地域格差を解消できる。

(8) 特記事項

2022年度は、スタンダードはクイックステップ、ラテンアメリカンはチャチャチャを指定種目とし、サマーセミナーで発表されたステップを中心に講習がなされた。

(9) 日程・開催地区・会場・参加人数

2023年3月31日現在

	日付	連盟・協会	開催会場	参加人数
1	2022年7月24日(日)	新潟県PDI協会	燕市 分水公民館「大ホール」	123
2		茨城県BD連盟(プロ)	ワークプラザ勝田 軽運動室	30
3	7月31日(日)	栃木県BD連盟(アマ)	栃木市 松本住建ホール	11
4	8月7日(日)	栃木県BD連盟(プロ)	鹿沼市商工会議所 アザレアホール	59
5		群馬県BD連盟(アマ)	群馬県総合スポーツセンター 本館3階 多目的ルーム	14
6		群馬県BD連盟(プロ)	群馬県総合スポーツセンター 本館3階 多目的ルーム	48
7		山形県BD連盟(アマ)	酒田市勤労者福祉センター 3階 多目的ホール	18
8		山形県BD連盟(プロ)	酒田市勤労者福祉センター 3階 多目的ホール	32
9	8月14日(日)	茨城県BD連盟(アマ)	屋宜ダンススクール	20
10	8月21日(日)	埼玉県BD連盟	イコス上尾	36
11		福島県BD連盟(プロ)	郡山市総合体育館 小体育館	23
12	9月11日(日)	福島県BD連盟(アマ)	いわき市立総合体育館	21
13		石川県BD連盟	身体障害者老人福祉センター こがね荘	28
14		秋田県BD連盟(アマ)	遊学舎	21
15	9月19日(月)	静岡県BD連盟	静岡労政会館	33
16	9月25日(日)	青森県BD連盟 青森県PDI協会	青森市 リンクステーションホール青森 中会議室	31
17	10月2日(日)	北海道BD連盟・PDI協会 道南地区	ダンススクールいのまた	14
18		北海道BD連盟・PDI協会 道東地区	ダンススペース・スギシタ	13
19		北海道BD連盟・PDI協会 道央地区	タカダンス栗林スタジオ	12
20	10月9日(日)	長野県PDI協会	さかぎテクノセンター	25
21	10月10日(月)	千葉県BD連盟(プロ)	千葉県経営者会館 6F大ホール	21
22		千葉県BD連盟(アマ)	千葉県経営者会館 6F大ホール	27
23		岡山県BD連盟	ヒトミダンススクール	29
24	10月16日(日)	福岡県BD連盟	哲クリニック	52
25	10月23日(日)	京都府PDI協会	ベアティホール	28
26	11月6日(日)	秋田県BD連盟(プロ)	秋田テルサ	28
27	11月20日(日)	奈良県PDI協会	ダンスホール大御門	21
28		熊本県BD連盟	熊本城彩苑 多目的交流施設	32
29	2023年1月29日(日)	愛知県PDI協会	一宮スポーツ文化センター	76
30	2月12日(日)	高知県BD連盟	高知市勤労者交流館	21
		合 計		947

## 4 地域協会支援事業

### (1) 目的

生涯スポーツ・生活文化・健康志向・地域コミュニティに視点を向け、各都道府県地域協会が経験したことの無い一般の人達に地元イベントやフェスの参加する機会を設け、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。全国の地域協会員に向けて、情報交換、活動の状況の発信する場を作る。

### (2) 参加対象

イベント等に参加する対象は、一般ダンス愛好者及びダンスを経験したことの無い一般の老若男女

### (3) 開催期日

各都道府県地域協会が定める。

### (4) 会場

各都道府県地域協会が定める。

### (5) 内容

各都道府県地域協会が開催する。ダンスを経験したことの無い一般の人達も気軽に体験できるような一般参加型のイベント等の事業に対し、助成費を支給する。

### (6) 応募方法

別途定める企画書・予算書等を提出する。

### (7) 助成金額

本法人が定める基準による。

### (8) 終了報告

各都道府県地域協会は、事業終了後、遅滞なく終了報告書・決算書等を提出する。

### (9) 期待される成果

各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、地域協会の活性化を図るとともに、各地区における生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進及び底辺拡大に寄与する。

※支援状況：18地域協会 44事業

## 5 ダンスウィーク「ダンスの日」事業

### (5-1) ダンスの日

開催内容や支援方法について見直し中であることから、事業を行わなかった。

### (5-2) スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

#### (1) 目的

生活文化としてのダンスの普及及び底辺拡大を図るとともに、国内のボールルームダンスの振興に寄与することを目的とする。

#### (2) 対象

本法人の会員、一般ダンス愛好者

#### (3) 募集方法

東部管内の関東管内地域協会にチラシを配布した。又、会報誌及びホームページにより広報を行った。

#### (4) 開催期日



2023年3月3日（金）

- (5) 会 場  
幕張メッセ・イベントホール
- (6) 参加人数 約141名
- (7) 入 場 料  
500円（チケット代として）
- (8) 内 容  
一般参加型のダンスタイムを中心に、講習会や抽選会などを行った。
- (9) 期待される成果  
一般参加型のダンスタイムにより、生活文化としてのダンスの活性化及び底辺拡大に貢献するとともに、国内におけるボールルームダンスの認知度の向上及び普及促進に寄与する。
- (10) 特記事項  
関東管内一都六県の地域協会が中心となって運営した。

## 6 その他の活動

### (6-1) ジュニアダンス開発

- (1) 目 的  
青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの若年層拡大を目的として全国各地にジュニア・スクールを展開し、その開校教室に対し支援や助言を行うとともに、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対 象  
全国の未就学児・小学生・中学生・高校生、ジュニア指導者
- (3) 広 報  
ホームページやSNS等により広報を行う。
- (4) 内 容
  - ア ジュニア・スクール開校教室は、本法人指定のカリキュラム（原則、1回につき60分～90分、13回を1クールとし年間で3クール）を参考にレッスンをを行う。本法人は、ジュニア・スクール開校教室に対し、無料で出席カードとシールを配布するとともに、5名以上の生徒を有するジュニア・スクールに対し、1回の開催につき、1,500円の補助金を支給した。  
※支援状況：20都府県 45教室 537名
  - イ ジュニア・スクールを開校するための「ジュニア・スクール指導員講習会」を、8月と11月にリモートで実施した。
  - ウ 日頃の成果を発揮する機会及び目標や達成感を与えることを目的としたリモート・ジュニア・バッジテストを実施した。
  - エ 全国の指導者やジュニアによる交流会を開催した。
    - ・名 称 Junior Ballroom Dance Meeting
    - ・開催期日 2023年3月27日（月）
    - ・会 場 森下文化センター
    - ・協 賛 カバヤ食品株式会社、株式会社ボール・プランニング イケダ
    - ・参加者数 141名
    - ・内 容 ボールルームダンスの普及を目的として、ダンスが初めての人も参加で

きる内容で実施した。未就学児から大学生まで幅広い年齢の子供たちが集まり、チーム対抗のゲーム、ダンス講習、デモンストレーションやフォーメーション、ダンスタイムを楽しんだ。

## (6-2) 震災復興支援

新型コロナウイルス感染症の影響等により、支援活動を行わなかった。

## 第2. 相談・助言に関する活動

### 1 優良教室認定事業

#### (1) 目的

本法人の定めた自主規制案に則ったダンス教室に認定を与え、営業内容等の助言をし、健全な営業ができるよう目指すことを目的とする。

#### (2) 対象

本法人所属プロ会員のいる教室

#### (3) 募集方法

ホームページに掲載し、広く一般社会に公表するとともに、本法人機関誌に掲載し、周知した。

#### (4) 期待される成果

安心で安全なダンス教室を認定し、登録証を発行する。一般の方々が安心してボールルームダンスのレッスンが受けられる。

※優良認定教室：93 認定教室：943 (2023年3月31日現在)

## 第3. 調査・資料収集に関する活動

### 1 機関誌作成事業

#### (1) 目的

本法人が2022年度に行う諸事業に関し、各事業への理解及び参加を促す。

併せて多くの人に、ボールルームダンスの魅力と本法人の活動を広報し、本法人が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。また、本誌は本法人と会員をつなぐ媒体として、2022年度の諸事業に関する情報を全国の会員へ伝え、スムーズな事業運営につなげる。

#### (2) 配布対象

本法人の会員、全国の教育委員会等

#### (3) 発行回数と発行部数

年間2回、90号・91号を発行した。

発行部数、90号・8,000部、91号・8,600部(非売品)。

#### (4) 内容

90号：2022年4月15日発行

第43回2022年日本インターナショナルダンス選手権大会予告、2022年度事業計画、2022スーパージャパンカップダンス報告など。

91号：2022年12月10日発行

2023スーパージャパンカップダンス予告、2021年度事業報告、第43回2022年日本インターナショナルダンス選手権大会報告など。

(5) 特記事項

「toto スポーツ振興くじ」の助成を受け発行した。

## 2 その他の活動

### (2-1) 国際渉外活動

- (1) 目的 国際競技会における環境の整備並びに我が国ボールルームダンスの技術力向上を目的として、以下の事業を行う。
- (2) 事業内容 ①リモート会議により、World Dance Council との連携及び調整を行った。  
②一般社団法人NDCJとの連携及び調整を行った。  
③NDCJ公認競技会の実施及び運営を行った。

### (2-2) 資料室運営

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、閲覧を中止した。

## 第4. 資格付与に関する活動

### 1 プロフェッショナルダンス教師5級認定試験事業

- (1) 目的  
プロ教師の原資格となる認定試験をブロックにて開催する。  
(平成27年6月17日風俗営業法改正により、国家公安委員会の指定の必要がなくなった。)
- (2) 参加対象  
プロフェッショナルダンス教師5級の資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方
- (3) 特記事項  
第47回は4月22日に開催し、14名が受験し、12名が合格。  
第48回は10月28日に開催し、15名が受験し、13名が合格。
- (4) 日程・開催地区・講習会場・試験会場

JBDF プロフェッショナルダンス教師5級認定試験結果

第47回(2022年度第1回) 試験日:4月22日(金)					
ブロック	講習日・講習会場	試験会場	受験者	合格者	合格率
関東甲信越	3月17日・18日 熊谷文化創造館さくらめいと	熊谷文化創造館さくらめいと	2	2	100%
京浜(東京)	3月30日・31日 森下文化センター	森下文化センター	12	10	83.3%
合 計			14	12	85.7%

第48回(2022年度第2回) 試験日:10月28日(金)					
ブロック	講習日・講習会場	試験会場	受験者	合格者	合格率
北海道		タカダンス栗林スタジオ	1	1	100%
東北	9月16日 北上市文化交流センター	北上市文化交流センター	1	1	100%
関東甲信越	9月13日・14日 埼玉県県民活動総合センター	埼玉県県民活動総合センター	2	2	100%
京浜(神奈川)	9月28日・29日 横浜市技能文化会館	横浜市技能文化会館	4	3	75%
東海北陸	10月8日・9日 沢上ムライダンス教室	沢上ムライダンス教室	3	3	100%
近畿	9月29日 アゼリア市民ホール	大阪市立都島区民センター	4	3	75%
合 計			15	13	86.7%

## 2 資格認定事業

### (1) 目的

不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。

### (2) 参加対象

ボールルームダンスを指導することに関心のある一般の方から、指導技術の向上を目指す本法人の会員

### (3) 特記事項

アマチュアダンス指導員1級の認定試験は、10月18日(2021年度延期分)に開催し、2名が受験し、1名が合格。3月29日に開催し、1名が受験し、合格者なし。合格率は33.3%になる。

### (4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数

#### 2022年度 アマチュアダンス指導員認定試験 結果

開催日	実施機関	5級			4級			3級			2級			1級		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2022年5月29日	愛知県PDI協会	8	8	100%	1	1	100%									
7月10日	東京都 ボールルームダンス連盟	3	3	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	1	50%			
10月18日	本部(2021年度延期分)													2	1	50%
10月23日	青森県 ボールルームダンス連盟				1	0	0%	2	2	100%	1	0	0%			
12月4日	関東甲信越ブロック				2	2	100%									
2023年3月29日	本部													1	0	0%
	合計	11	11	100%	6	5	83.3%	4	4	100%	3	1	33.3%	3	1	33.3%

## 第5. 競技会に関する活動

### 1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

(1) 目的

青少年のボールルームダンスの競技力向上及び心身の健全育成の推進並びに、スポーツの振興及び室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展に寄与する。

(2) 開催期日

2022年8月7日(日)

(3) 会場

中央区立総合スポーツセンター(東京都中央区)

(4) 後援

スポーツ庁、東京都教育委員会、中央区、中央区教育委員会

(5) 協賛

モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ

(6) 参加者数

424人(212組)

(7) 来場者数

400人(一般・来賓・役員等合計)

(8) 内容

小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの2部門において競技を行った。また、現在トッププロとして活躍し、過去に本大会で優勝経験を持つ八谷組のスペシャルデモンストレーションを行った。

(9) 特記事項

コロナ禍であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催した。

小学生低学年の部の各優勝者に、文部科学大臣賞が授与された。

独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじの助成を受けて実施した。

### 2 JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会

(1) 目的

国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

(2) 開催期日

2022年9月24日(土)・25日(日)

(3) 会場

エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育会館)

(4) 主管

一般社団法人西部日本ボールルームダンス連盟

(5) 後援

スポーツ庁、大阪府、大阪市、池田市、大阪観光局

(6) 参加者数

1,330人(665組)

(7) 来場者数

2, 661人 (一般・来賓・役員等合計)

(8) 内 容

プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グランドシニア選手権、プロ・アマライジングスター戦、スーパーシニア戦、シニア戦、ジュニア及びジュブナイル競技会を行った。また、プレミアムデモンストレーションとして、アマチュア愛好者によるデモンストレーションが披露された。

(9) 特記事項

コロナ禍であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催した。

プロフェッショナル部門とアマチュア部門の優勝者に、文部科学大臣杯が授与された。

### 3 日本インターナショナルダンス選手権大会

(1) 目 的

国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

(2) 開催期日

2022年6月18日(土)・19日(日)

(3) 会 場

日本武道館大ホール(東京都千代田区)

(4) 主 管

一般社団法人東部日本ボールルームダンス連盟

(5) 公 認

WDC、一般社団法人NDCJ

(6) 後 援

スポーツ庁、特定非営利活動法人国連UNHCR協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

(7) 特別協賛

インドネシア バヤン・グループ(プロ部門の両セクションの1位から3位の賞金)

(8) 協 賛

モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、北辰商事(株)、(一財)国際知識普及協会、河口湖音楽と森の美術館、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ、(株)スタジオひまわり

(9) 参加者数

2, 648人(1, 324組)

(10) 来場者数

3, 889人(一般・来賓・役員等2日間合計)

(11) 内 容

土曜日に日本インターナショナルアマプロダンス選手権を行い、日曜日に海外のトップ選手及び著名審査員を招聘し、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本シニア選手権を行った。また、日曜日にはプレミア・デモンストレーションとして、アマチュア愛好者によるデモンストレーションが披露された。

(12) 特記事項

コロナ禍であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催した。

プロの両部門の優勝者に、内閣総理大臣賞が授与された。また、プロの両部門の準優勝者及びアマの両部門の優勝者に、環境大臣賞が授与され、プロの両部門の3位及びアマの両部門の準優勝者に、経済再生担当大臣賞が授与された。

#### 4 スーパージャパンカップダンス

(1) 目 的

国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

(2) 開催期日

2023年3月4日(土)・5日(日)

(3) 会 場

幕張イベントホール(幕張メッセ)

(4) 主 管

一般社団法人東部日本ボールルームダンス連盟

(5) 後 援

スポーツ庁、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市、特定非営利活動法人国連UNHCR協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

(6) 特別協賛

インドネシア元大統領夫人 ラトナ サリ デヴィ スカルノ様(レディー デヴィ スカルノアワードとして、全日本セグエ選手権の各部門の1位から3位の賞金)

(7) 協 賛

(一財)アース・エイド・ソサエティ、(株)ケイビ、(株)ワオ・コーポレーション、モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、北辰商事(株)、(一財)国際知識普及協会、河口湖音楽と森の美術館、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ

(8) 参加者数

2,124人(1,062組)

(9) 来場者数

4,645人(一般・来賓・役員等2日間合計)

(10) 内 容

全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、ライジングスター競技会(プロ・アマ)、スーパーシニア競技会、全日本ジュニア及びジュブナイル選手権を行った。また、本多組による引退デモンストレーション及び、アマチュア愛好者によるプレミア・デモンストレーションが披露された。

(11) 特記事項

コロナ禍であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催した。

全日本選抜ダンス選手権のプロの両部門の総合優勝者に、内閣総理大臣賞が授与された。また、全日本選抜ダンス選手権のプロ・アマ各部門の総合優勝者に、スポーツ庁長官賞が授与され、全日本選抜ダンス選手権のプロ・アマ各部門の総合準優勝者に、千葉県知事賞が授与された。

## 5 全日本10ダンス選手権大会

### (1) 目的

国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

### (2) 開催期日

2022年7月10日(日)

### (3) 会場

東京都立産業貿易センター 台東館 4階(東京都台東区)

### (4) 主管

一般社団法人東部日本ボールルームダンス連盟

### (5) 後援

スポーツ庁

### (6) 協賛

(株)タカ・ダンスファッション、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ

### (7) 参加者数

312人(156組)

### (8) 来場者数

259人(一般・来賓・役員等合計)

### (9) 内容

スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の計10種目で競われる全日本10ダンス選手権大会の他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行った。

### (10) 特記事項

コロナ禍であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催した。

全日本10ダンス選手権大会のプロ部門については、一般社団法人NDCJのプロフェッショナル統一全日本10ダンス選手権大会として開催した。

## 第6. 競技選手の育成および指導に関する活動

### 1 強化指定選手助成事業

#### (1) 目的

国際的なレベルの選手を育てることを目的に、強化指定選手を認定し支援するとともに、選手の技術力及び競技力の向上を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

#### (2) 内容

J B D F 3 大会の成績に基づく全国ランキングにより、強化指定選手を認定し、登録した選手に助成金の給付を行った。また、世界選手権へ出場した選手に対し、代表助成金の給付を行った。

※助成状況：プロフェッショナル・31名、アマチュア・14名

### 2 その他の活動

#### (2-1) ダンスアカデミー

新型コロナウイルス感染症の影響等により、支援活動を行わなかった。



## (2-2) ナショナルチーム選手育成

### (1) 目的

選手の技術力・競技力の向上とアスリートの強化育成を図り、世界に通用する選手を育てることを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

### (2) 内容

2018年に発足した科学委員会において、スタンダード選手5組、ラテンアメリカン選手5組の計20名のプロ選手が参加し、ダンス時の心拍数測定実験を実施した。この実験により、ダンス時の生体負担度が明らかになり、ダンス選手にとって必要な具体的な体力や運動能力が解明された。

実験で収集したデータ分析を踏まえ、試合前日の食事・栄養戦略や疲労回復のための食事に関する情報を提供した。

## (2-3) コングレス

開催時期や場所について見直し中であることから、事業は行わなかった。

## (2-4) スプリングキャンプ

### (1) 目的

ジュニアやジュブナイルを対象に、世界に通用する競技選手の育成を目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

### (2) 対象

キャンプ開催日当日16歳未満で、JBD F加盟団体登録選手または次の何れかの競技会出場経験者(日本インターナショナルダンス選手権大会、スーパージャパンカップダンス、小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ)

※参加者の父兄またはコーチーの見学可能

### (3) 募集方法

会報誌、ホームページ等による広報を行う。

### (4) 開催期日

2023年3月30日(木)

### (5) 会場

森下文化センター 第1レクホール

### (6) 内容

小学1年生から中学3年生までの男女22名と父兄・コーチー9名が参加し、専門の講師によるスポーツストレッチやJBD Fトッププロによる技術講習を行った。

## 【収益事業等】

### 1 出版物の刊行・販売に関する活動

#### (1) 目的

試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作をする。

#### (2) 対象

本法人の会員及び、正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方。

(3) 特記事項

サマーセミナーのポピュラーバリエーションDVD（クイックステップ・チャチャチャ）とみんな de ワルツⅡのDVD等の制作し、販売をした。

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1 海外で開催される競技会のチケット販売に関する活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、チケットを販売しなかった。

2 外国人招聘手続代行に関する活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外から選手や審査員を招聘しなかった。

3 JBDFプロフェッショナルダンス教師資格認定・試験審査員認定・採点管理者資格認定に関する活動

(1) 目的

一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。

(2) 参加対象

- ① JBDFプロフェッショナルダンス教師4～1級の講習及び認定試験を行なう。
- ② 正会員に試験審査員3～1級の講習及び試験を開催し認定する。
- ③ 会員に採点管理者資格1次又は2次の試験を開催し、資格を認定する。

(3) 特記事項

- ① JBDFプロフェッショナルダンス教師4級～1級認定試験を全国8箇所にて開催し、延べ62名の受験し、53名が合格。合格率は85.5%になる。
- ② 試験審査員3～1級の認定試験を2箇所で行い、15名を認定した。
- ③ 採点管理者認定試験を全国5箇所にて開催し、1次試験2次試験合わせて57名が受験し、57名が合格。合格率100%となった。

(4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数

2022年度 プロフェッショナルダンス教師認定試験 結果

開催日	実施機関	4級			S3級			L3級			S2級			L2級			S1級			L1級			
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
2022年4月22日	関東甲信越ブロック	2	2	100%	4	4	100%				6	6	100%										
5月29日	愛知県PDI協会	4	3	75%																			
8月31日	東京都PDI協会	6	6	100%	1	1	100%							1	1	100%							
10月18日	本部(2021年度延期分)																4	1	25%	7	6	85.7%	
10月28日	東北ブロック	3	3	100%																			
10月28日	関東甲信越ブロック							4	4	100%				6	6	100%							
10月28日	近畿ブロック	5	3	60%				1	1	100%													
2023年3月29日	本部																6	4	66.7%	2	2	100%	
	合計	20	17	85%	5	5	100%	5	5	100%	6	6	100%	7	7	100%	10	5	50%	9	8	88.9%	

### 2022年度 試験審査員認定試験 結果

試験日	実施機関	1級試験審査員			2級試験審査員			3級試験審査員		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2022年11月9日	東京都PDI協会				1	1	100%	4	4	100%
2023年2月8日	本部	10	10	100%						
合計		10	10	100%	1	1	100%	4	4	100%

### 2022年度 採点管理者認定試験 結果

試験日	実施機関	第1次			第2次		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2022年5月27日	連盟本部	4	4	100%	2	2	100%
6月22日	関東甲信越ブロック	11	11	100%			
6月30日	西部日本BD連盟	11	11	100%	6	6	100%
12月2日	東部日本BD連盟	3	3	100%	5	5	100%
2023年2月9日	西部日本BD連盟	7	7	100%	8	8	100%
合計		36	36	100%	21	21	100%

## 4 会員向け福利厚生制度・団体保険に関する活動

### (1) 目的

会員サービスの充実を図り、会員の定着と普及を図ることを目的とする。

### (2) 事業概要

①損害保険会社等と提携し、長期休業補償制度を斡旋した。

②福利厚生物品を特別価格で斡旋した。

### (3) 対象

本法人の正会員、登録会員

### (4) 内容

①広報誌やホームページ等で、会員に事業の概要を周知した。

②加入者からの制度費を集金するとともに、保険会社に制度費を納入した。

※2022年度加入者：15名